

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	道徳教育総合支援事業		<b>担当部局庁</b>	初等中等教育局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成22年度		<b>担当課室</b>	教育課程課		教育課程課長 塩見みつ枝		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	Ⅱ-2 豊かな心の育成				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	文部科学省組織法第3条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条		<b>関係する計画、通知等</b>	学習指導要領改正通知(平成20年3月28日) 教育振興基本計画(平成20年7月1日 閣議決定)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の未来を担う子どもたちに、社会性や規範意識、思いやりなどの豊かな心を育むための教育を充実するため、学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳教育を推進する。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	主に小・中学校、教育委員会を対象に次の事業を実施 ・道徳教育総合支援事業(道徳教育充実のための保護者・地域との連携、外部講師派遣、道徳教材の活用など、自治体等における多様な取組について必要な支援を実施)							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	706	631	631	631	
		繰越し等	-	0	0	0	0	
		計	-	706	631	631	631	631
	執行額	-	486	467				
	執行率(%)	-	68.8%	74.0%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	成果目標:各学校における道徳教育の充実 成果指標:本事業は、道徳教育の充実を通じて、児童生徒の道徳性の向上を目指すものであり、定量的な成果指標を示すことは困難。		成果実績		-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	実施地域数		活動実績(当初見込み)	地域	-	22 (66)	46 (46)	- (52)
<b>単位当たりコスト</b>	9,936,239(円/地域)		算出根拠	X=23年度執行額:457,067千円 Y=地域数:46地域				
平成24・25年度予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	6百万円	5百万円					
	職員旅費・委員等旅費	3百万円	3百万円					
	教職員研修費	2百万円	2百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費	620百万円	621百万円					
	計	631百万円	631百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業については、道徳教育充実のための保護者・地域との連携、外部講師派遣、道徳教材の活用など、自治体等における多様な取組について必要な支援を行うものであり、公募により地域住民のニーズを踏まえた計画書から決定を行っている。また、道徳教育の充実という目的の達成のためには、国が地方公共団体に対して積極的な財政支援を行いながら事業を強力に推進する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保している。また、事業計画書及び事業経費の費目・使途の精査を行った上で契約を行うなど、その妥当性や透明性を確保している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	都道府県等に対する委託事業として実施しており、自治体等における多様な取組を支援することから、効率的かつ実効性の高い運用を行っている。また、当該事業で得られた具体的成果物については、委託先で積極的に活用されるとともに、文科省ホームページにおける発信や、関係協議会等での周知等、積極的かつ効率的に活用できるための措置を実施している。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	※類似事業名とその所管部局・府省名 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>各事業年度毎に各事業者から提出される事業実施計画書(事業開始前)及び事業完了報告書(事業完了後)等において、各事業者における支出先・使途を把握し、経費の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。また、必要に応じて提出書類のみでは確認が不十分な場合には、個別に問い合わせるなど、各事業者における支出先・使途の把握に努めている。</p> <p>22年度よりWEB化を行った「心のノート」を地域の郷土資料と組み合わせる教材を作成し活用するなど、地域や学校の実情等に応じて本事業を活用した創意工夫ある取組の紹介を行うなどして、引き続き自治体が本事業の実施を検討する際の幅を広げるとともに、本事業の内容の質を高めてまいりたい。</p> <p>なお、不用率が大きいのは、委託先における効果的・効率的な執行(印刷物の競争入札等)や、一部地域の計画変更により、事業を縮小したこと等によるものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、学習指導要領の趣旨を踏まえた、主に小・中学校、教育委員会を対象に道徳教育を推進する事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:この事業は、平成23年度決算において不用額が生じていることから、不用額が生じたより詳細な要因を分析した上で、予算執行の実績を適切に概算要求に反映すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>本事業は、教育基本法に教育の目標として明定された「豊かな情操と道徳心を培う」ことを踏まえ、新学習指導要領において改善を図った魅力的な教材の開発・活用など、自治体等における多様な取組について国の責任において必要な支援を行うものである。このため、教育振興基本計画においても、5年間に取り組む中心施策として適切な教材の活用を含む道徳教育の推進を掲げており、実施地域数は着実に伸びてきている。</p> <p>25年度概算要求においては、道徳教育推進状況調査を廃止するとともに、高等学校における道徳教育についても拡充することで、より一層の道徳教育の質の向上を図る。</p>		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○学習指導要領改正通知(平成20年3月28日) <a href="http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/03/31/1304440_001.pdf">http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2011/03/31/1304440_001.pdf</a></p> <p>○教育振興基本計画(平成20年7月1日) <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/080701/002.pdf">http://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/080701/002.pdf</a></p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0069	平成23年行政事業レビュー	0098

文部科学省  
467百万円

諸謝金 1.3百万円  
職員旅費・委員等旅費 1.8百万円  
教職員研修費 3.9百万円  
を含む

学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳教育を推進するため、全国協議会の開催、読み物資料集の作成、創意工夫を生かした道徳教育を推進するための実践研究を実施

〔公募・委託〕

A. 道徳教育総合支援事業  
457百万円  
教育委員会 全46機関

〔公募・委託〕

B. 心のノート活用事例集改善事業  
3百万円  
廣済堂あかつき株式会社

主に小・中学校、教育委員会を対象に次の事業を実施  
・道徳教育総合支援事業(道徳教育充実のための保護者・地域との連携、外部講師派遣、道徳教材の活用など、自治体等における多様な取組について必要な支援を実施)

・新学習指導要領を踏まえた「心のノート」の改訂に伴う活用事例集の改善版を作成  
・改善版のイラスト、レイアウト、写真等の著作権処理等を実施

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出され  
 ている者につい  
 て記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.川崎市教育委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費等	道徳教育用教材の購入費等	59			
計		59	計		0
B.廣済堂あかつき株式会社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	データ更新、イラスト作画料等	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.道徳教育総合支援事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	川崎市教育委員会	道徳教育用教材の選定・購入・配布	59	企画競争	—
2	熊本県教育委員会	道徳教育用教材の選定・購入・配布	56	企画競争	—
3	北海道教育委員会	道徳教育用教材の選定・購入・配布	50	企画競争	—
4	千葉県教育委員会	道徳教育用映像教材の作成・配布	32	企画競争	—
5	鹿児島県教育委員会	道徳教育用教材の選定・購入・配布	27	企画競争	—
6	横浜市教育委員会	「心のノート」の印刷・製本・配布	26	企画競争	—
7	徳島県教育委員会	道徳教育用教材の選定・購入・配布	14	企画競争	—
8	長崎県教育委員会	道徳教育用教材の選定・購入・配布	14	企画競争	—
9	富山県教育委員会	「心のノート」の印刷・製本・配布	12	企画競争	—
10	埼玉県教育委員会	道徳教育用教材の選定・購入・配布	12	企画競争	—

B.心のノート活用事例集改善事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	廣済堂あかつき株式会社	編集作業人件費、データ更新、イラスト作画料等	3	企画競争	—